

Community School 通信

☆第2回 学校運営協議会 アクションプランを評価

本年度最後の会議となる、第2回学校運営協議会を3月2日（木）に行いました。コミュニティ・スクールが10月に導入され、11月に第1回学校運営協議会を開催。年度途中の導入ということもあり、ほぼ、協議に終始することになりましたが、学校・家庭・地域の連携について、具体的に意見交流ができたことは、次年度に向けて意義あるものとなりました。

これまでも、地域との連携はたびたび話題になっていたものの、なかなか具体化していかない実態があったように思います。しかし、コミュニティ・スクールの導入により、学校の方針を理解していただき、学校・家庭・地域の三者が、子どもたちの様子や目指したい子ども像をしっかりと共有することで、必要な連携の形が見えてきました。すべては「子どもたちの望ましい成長のため」学校・家庭・地域が一体となって取り組む子育て・教育の姿が、いよいよ本格化していきます。以下、話し合われた連携の具体策を記載します。

◆地域・小中連携コーディネート部

- ・参観日、地域公開日のお知らせを、もっと町内広くに行き、子どもたちの活動ぶりを見ていただきたい。（有線放送等の活用）
- ・1年の職場訪問、2年の職業体験学習など、協力いただける事業所をもっと広く要請したい。



写真上：地域・小中連携コーディネート部

◆学校支援部

- ・登下校の安全指導、バス停指導等、地域との連携を図りたい。

- ゲストティーチャーなどの要請をし、学校のニーズに合わせた支援をお願いしたい。
- スキー授業でのスキー指導など依頼することは可能か。

◆学校評価部

- アクションプラン数値目標を再考してはどうか。
- 地域アンケート等の在り方を考えてみたい。

下表：アクションプラン
総括評価

写真下：学校支援部



写真下：学校評価部



多くの意見、アクションプラン評価結果を参考に、次年度、いよいよ具体的な連携がスタートします。より一層のご理解・ご協力をお願いします。

求める 子どもの姿

子ども	教師		総括			
	達成率 (%)	評価	項目	数値目標 (%)	達成率 (%)	評価
1	89	A	1	分かる授業の構築		A
2	89	A	2	意欲的な学習姿勢		A
3	88	A	3	追及する学習姿勢		A
4	75	B	4	家庭学習習慣の定着		B
5	84	B	5	学習規律の定着		A
6	90	A	6	社会性の伸長		A
7	88	A	7	道徳的実践力		A
8	95	A	8	いじめ根絶		A
9	88	A	9	仲間意識の醸成		A
#	93	A	#	道徳的実践力		A
11	89	A	11	夢、希望、自己目標		B
12	92	A	12	自己有用感		A

